

## 商工観光労働部

( 予 算 額 )

( 決 算 額 )

### 商工観光労働総務課

#### I 商業総務費

1	県内事業者デジタル化推進事業	11,914	11,055	コロナ禍における現状と社会変化に対応できるよう、県内事業者のデジタル化を促すためのシンポジウムを開催するとともに、専門家の派遣を行った。
2	県内事業者支援体制一元化事業	81,225	74,552	県内における相談支援体制を一元化し、県内事業者の新分野展開や業態転換等の事業再構築の支援を行った。
3	南紀白浜空港展望広場（空港公園）内のビジネス拠点整備補助事業	30,000	30,000	官民連携により「南紀白浜空港展望広場（空港公園）内ビジネス拠点」の施設整備を実施した事業者に対し、補助を行った。
4	大阪・関西万博和歌山ゾーン構築事業	1,675,204	1,673,998	大阪・関西万博に出展するための出展基本計画の策定を進めるとともに、「空飛ぶクルマ」の和歌山県版ロードマップ及びアクションプランの作成を行った。また、万博事業の財源に充てるため、基金を設置し、積立を行った。

#### II 商業振興費

1	飲食・宿泊・サービス業等支援金（第IV期）事業	2,669,454	2,669,454	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年1月～3月のうち、ひと月の売上が前年・前々年比30%以上減少した事業者に対し、従業員規模に応じて支援金を支給した。
2	飲食・宿泊・サービス業等支援金（第V期）事業	1,923,100	1,920,122	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年4月～6月のうち、ひと月の売上が前年・前々年比30%以上減少した事業者に対し、従業員規模に応じて支援金を支給した。

#### III 計量検定費

1	計量器検定・指導啓発事業	10,772	7,936	計量器等の検定・検査及び計量関係事業者の指導等を行った。
---	--------------	--------	-------	------------------------------

計量器等の検定・検査及び計量関係事業者の指導等を行った。

主 な 項 目	個 数
特定計量器検定・検査 （タクシーメーター、燃料油メーター等）	2,294個
はかりの定期検査（計量証明検査含む）	3,858個
燃料油メーター立入検査	273個
石油ガスメーター立入検査	6,448個

### 商工振興課

**I 商業振興費**

1 小規模事業経営支援事業 1,236,275 1,230,507

小規模事業者の振興と経営の安定を図るため、商工会、商工会議所及び県商工会連合会が設置した経営指導員等が行う経営改善普及事業等に係る支援を行った。

事業区分	主 な 項 目	件 数 等
商工会等 ( 31商工会 7商工会議所 県商工会連合会 )	指導員による巡回指導件数	25,808件
	指導員による窓口指導件数	51,288件
	金融の斡旋 (件数) (金額)	637件 4,734百万円
	講習会の開催回数	1,288回

2 中小企業団体支援事業 104,950 103,060

事業協同組合、商工組合等の組織化の推進や人材養成等を図るため、和歌山県中小企業団体中央会が設置した指導員等が行う組織化指導事業等に係る支援を行った。

主 な 項 目	件 数 等
組合等の指導事業	
組合等の指導件数	3,412件
組合等の相談件数	2,970件
活性化情報提供事業	毎月発行 700部×12箇月

3 商工会等窓口強化支援事業 120,006 103,722

新型コロナウイルス感染症や原材料価格高騰等の影響を受けた事業者を支援するため、商工会・商工会議所が人員を臨時的に増員して行う体制強化に係る支援を行った。

(前年度繰越分)

1 わかやま飲食店応援・キャッシュレス普及促進事業 1,000,000 856,641

コロナ禍の影響を特に受けた県内飲食業における消費喚起並びにキャッシュレス決済の普及促進のため、県内飲食店等における支払額の一部を利用者に還元した。

2 和歌山県営業時間短縮要請協力金事業 7,330,562 5,591,437

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、営業時間短縮の要請（要請期間：令和4年2月5日～3月6日）に応じた事業者に対し、協力金を支給した。

**II 金融対策費**

1 中小企業融資制度実施事業 77,647,497 55,439,124

県内中小企業者が、経営の安定化や事業の活性化に必要な資金を円滑に調達できるよう、金融機関及び信用保証協会と協力して融資を行った。

制 度 名		新規融資実績	
		件 数	金 額
振興対策資金	一 般	156	1,649,330

制 度 名		新規融資実績	
		件 数	金 額
短期決済資金	一 般	28	360,000
経営支援資金	一 般	7	136,000
	セーフティ	107	1,250,070
	伴走支援	1,088	17,641,139
小企業応援資金	一 般	31	158,300
	小 口	460	1,455,710
	特 小	4	19,500
新規開業資金	創 業	106	498,000
	創業サポート	35	212,400
資金繰り安定資金	借 換	204	3,540,818
	セーフティ	48	640,680
	経営改善・事業再生	34	978,296
成長サポート資金	チャレンジ応援	25	419,300
安全・安心推進資金	エネルギー政策推進	5	54,200
事業承継支援資金	事業承継支援	2	24,500
	承継特別支援	1	59,000
計		2,341	29,097,243

融資残高	件 数	金 額
(令和5年3月31日現在)	21,758	232,550,053

2 信用補完制度実施事業 153,162 152,650

中小企業の金融円滑化のため、信用保証料の軽減及び代位弁済に係る損失補償を行った。

内 容	金 額
信用保証料補助	125,555
損失補償補填	27,087

### III 工鉱業総務費

1 石油貯蔵施設立地対策事業 162,337 161,643

石油貯蔵施設周辺地域住民の福祉の向上を図るため、石油貯蔵施設の設置に伴う市町の公共用施設整備に対して補助を行った。

市 町 名	金 額	公共用施設種別
和歌山市	495	消防施設
海南市	62,415	消防施設、防災道路等
有田市	76,000	消防施設、防災道路等
紀の川市	2,287	消防施設
紀美野町	2,060	消防施設
湯浅町	5,469	消防施設
有田川町	12,550	消防施設

### 労働政策課

#### I 労政総務費

1	労働関係等調査事業	858	173
2	労働教育指導事業	1,706	1,339

労使関係総合調査を行った。  
労働セミナー及び企業への人権研修を行った。  
・労働セミナー 参加者数 延べ303人

#### II 労働福祉費

1	労働者福祉協議会助成事業	2,330	2,330
2	勤労福祉会館管理運営事業	16,700	16,700

勤労者福祉の向上に寄与するため、(公社)和歌山県労働者福祉協議会が行う講演会や研修会に対する補助を行った。  
勤労福祉会館「プラザホープ」の管理を指定管理者である(一財)和歌山県勤労福祉協会に行わせた。

#### III 雇用促進費

1	障害者雇用対策事業	3,136	2,753
2	産業を支える人づくりプロジェクト事業	55,824	52,728

ジョブサポーターの育成・派遣及び障害者雇用の啓発活動の実施により、障害のある人が就業しやすい環境整備を行った。  
〔高校生の県内就職の促進〕  
工業高校におけるものづくり企業と連携した人材育成の外、工業高校以外の高校においても企業説明会や企業見学等の企業と連携した取組を実施するとともに、就職希望の高校3年生を対象にした応募前企業ガイダンスの開催や就職ガイドの作成・配布、就職情報ポータルサイトによる県内企業の魅力発信を行った。  
〔大学生等のUIターン就職の促進〕  
県内企業の求人情報等を収集し、県外に進学した大学生等に、ホームページやガイドブック、また、大学のキャリアセンターや就職セミナーを通じて情報提供するとともに、

3	働き方改革推進・テレワーク促進事業	10,677	5,785	県内外での企業説明会や県内企業でインターンシップを実施し、U I ターン就職を促進した。 柔軟な働き方が可能なテレワークの普及促進や、働きやすい雇用環境の整備など働き方改革に向けた企業の取組を促進した。 ・テレワークフェア、集いの場等 参加者数 延べ745人 ・専門家による企業向け相談支援 支援企業数 13社
4	和歌山再就職支援「就活サイクル」プロジェクト事業	76,165	71,733	結婚や出産等で離職した女性、定年退職した方、都会で働く人などの再就職を支援するため、2月の「就活強化月間」に合同企業説明会を実施し、4月の就職を目指す和歌山県独自の「就活サイクル」を推進するとともに、再就職支援センターにおいて、個別相談やセミナー等を実施した。 ・合同企業説明会 参加企業数 延べ234社 参加者数 83人
5	教育訓練の推進事業	56,172	16,877	新型コロナウイルスの感染拡大からの事業本格再開に向け、従業員のスキル向上を図るため、雇用調整助成金の国の教育訓練加算に県として上乗せ助成を実施した。 ・支給決定件数 40件

(前年度繰越分)

1	離職者の再就職支援事業	81,421	29,843	新型コロナウイルスの影響下で離職し正社員を目指す人を対象に、企業での研修の機会を提供することで、終了後、実習先企業での正社員としての安定雇用につなげた。 ・直接雇用型（補助） 正社員雇用数 3人 ・間接雇用型（委託） 正社員雇用数 9人
---	-------------	--------	--------	--

#### IV 産業技術専門学院費

1	産業技術専門学院運営事業	44,726	39,690	主に新規学卒者を対象にした職業訓練を実施し、若手技能者の育成を行った。 ・和歌山産業技術専門学院 24,226 ・田辺産業技術専門学院 15,464
2	委託訓練事業	211,270	127,102	離転職者等を対象にした職業訓練を民間教育訓練施設等への委託により実施し、就業促進を図った。
3	産業技術専門学院整備事業	37,465	32,105	県内産業の発展に寄与する時代ニーズに対応した人材を育成するため、和歌山産業技術専門学院及び田辺産業技術専門学院の機器整備等を実施した。

#### 企業振興課

##### I 貿易振興費

1	国際経済交流支援事業	8,584	7,623	<p>[和歌山国際経済サポートデスク]</p> <p>県内企業の国際化を推進するため、(公財)わかやま産業振興財団に委託し、和歌山国際経済サポートデスクを運営した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事業内容：貿易・投資相談、情報収集・提供及びセミナーの開催</li><li>・事業実績：貿易・投資相談 86件 セミナー開催 5回 参加者 146人</li></ul> <p>※セミナー件数はジェトロ和歌山貿易情報センター共催分3回を含む。</p> <p>[海外ビジネス実現支援(商社OB等派遣)]</p> <p>県内企業の海外ビジネスに関する支援希望内容に応じて、海外経験豊富な商社OB等を派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事業内容：海外販路開拓アドバイス、業務提携等の支援、現地通訳、商談同行</li><li>・事業実績：支援件数 47件(支援企業 4社)</li></ul>
---	------------	-------	-------	--

## II 物産観光幹旋費

1	優良県産品(プレミアム和歌山)振興事業	47,086	44,367	<p>優れた県産品を選定・推奨し、和歌山県産のブランドイメージの確立を図るため、推奨品の認定を実施するとともに、各種商談会・イベントへの参加などを通じて制度及び認定推奨品のPRを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・第15回認定 92商品(48事業者)</li></ul> <p>プレミアム和歌山推奨制度のブランド化、推奨品の販売促進を図るため、著名人によるPRや首都圏を核とした販売促進活動を展開した。</p> <p>[プレミアム和歌山デジタルカタログの作成]</p> <p>プレミアム和歌山推奨品を持つ事業者を紹介するバイヤー向けのデジタルカタログを作成し、プレミアム和歌山ウェブサイト上に掲載・公開した。</p> <p>[プレミアム和歌山パートナー制度]</p> <p>泉麻人(コラムニスト)、荻野アンナ(作家・仏文学者)、幸田真音(作家)、鈴木光司(作家)、クミコ(歌手)、弘兼憲史(漫画家)、山本一力(作家)の7人に就任していただき、情報発信をお願いした。</p> <p>[プレミアム和歌山プロデュース]</p> <p>審査委員特別賞を受賞した事業者に対し、審査委員の個別アドバイス及びプロデュースを行った。</p> <p>[首都圏等での販売促進](食品流通課実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「第31回三井食品関西メニュー提案会」に出展した。 (令和4年4月26日 4事業者出展)</li></ul>
---	---------------------	--------	--------	--

				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディアモール大阪でプレミアム和歌山フェアを開催した。 (令和4年6月29日～30日 4事業者出展)</li> <li>・「2022年国分西日本株式会社秋季展示商談会」に出展した。 (令和4年7月5日 4事業者出展)</li> <li>・「三井食品フードショー2022」に出展した。 (令和4年7月14日～15日 5事業者出展)</li> <li>・JR大阪駅アトリウム広場でプレミアム和歌山物産展を開催した。 (令和4年9月17日～18日 4事業者出展)</li> <li>・物産店舗「わかやま紀州館阪急梅田店」を期間限定でオープンした。 (令和4年10月21日～11月1日 56事業者出展)</li> <li>・「第12回通販食品展示商談会」に出展した。 (令和4年11月1日～2日 10事業者出展)</li> <li>・「FOOD STYLE Kyushu2022」に出展した。 (令和4年11月9日～10日 10事業者出展)</li> <li>・テレビ東京系列通販テレビ番組「虎ノ門市場」での特集等を実施した。 (令和4年11月16日、12月27日、令和5年1月20日 テレビ番組で3事業者を特集、ECサイトでも販売)</li> <li>・「2023春&amp;夏の新製品発表会」に出展した。 (令和5年1月12日～13日 5事業者出展)</li> <li>・オンラインお土産サービス「みやげっと de プレミア和歌山」を実施した。 (LINE等でプレミアム和歌山ギフトが簡単に贈れるサービス)</li> </ul>
2	わかやま産品魅力再発見事業	6,650	6,650	<p>県産品のブランド力向上と販路拡大のため、(株)三越伊勢丹との協働により、県産品のブラッシュアップ、ムードマークオンラインサイトでの販売とプロモーションを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採択事業者 10事業者 (食品7者、非食品3者)</li> </ul>

### III 中小企業振興費

1	地場産業等総合振興事業	2,085	1,052	地場産業団体の育成指導、景気動向調査を行った。
2	皮革産業総合振興事業	11,046	10,507	<p>[零細皮革産業技術指導]</p> <p>皮革産業の体質強化を図るため、零細皮革企業を対象に、技術指導員が品質管理・技術習得等の巡回技術指導を行った。(年間延べ2社)</p> <p>[東京レザーフェア出展参加]</p> <p>皮革製品の需要開拓を図るため、国内最大の見本市である東京レザーフェアに出展参加</p>

した。

- ・第103回東京レザーフェア 令和4年5月26日～27日  
出展企業数 7社 開催場所 東京都立産業貿易センター台東館
- ・第104回東京レザーフェア 令和4年12月8日～9日  
出展企業数 7社 開催場所 東京都立産業貿易センター台東館

〔異業種見本市出展参加〕

異業種への新規市場開拓を図るため、国内最大の繊維総合見本市であるジャパンクリエーションに出展参加した和歌山県製革事業協同組合に対して補助を行った。

- ・ジャパンクリエーション 令和4年11月1日～2日  
出展団体 和歌山県製革事業（協組） 開催場所 東京国際フォーラム

〔皮革産地展示会開催〕

和歌山産皮革製品の優れた点を広く一般消費者に訴えけるとともに、和歌山市中央コミュニティセンターで展示会を開催した和歌山県製革事業協同組合に対して補助を行った。

- ・和歌山レザーフェスティバル 令和4年11月26日～27日

主催者 和歌山県製革事業（協組） 開催場所 和歌山市中央コミュニティセンター

3 伝統工芸品リバイバル支援事業

3,120

2,520

伝統工芸品産業の振興を図るため、産地組合等が実施する後継者育成事業に対して補助を行った。

- ・経済産業大臣指定伝統的工芸品  
紀州漆器、紀州箆笥、紀州へら笥
- ・県知事指定郷土伝統工芸品  
紀州へら笥、保田紙、御坊人形、皆地笠、那智黒硯、野鍛冶刃物、紀州雛、棕櫚箆、根来寺根来塗、紀州高野組子細工

4 スタートアップオフィス事業

16,482

16,414

県内に設置している起業家支援施設の入居者に対し、起業支援及び成長支援を行った。

- ・県立情報交流センターSOHOブース 支援社数 5社
- ・わかやまビジネススクエア 支援社数 10社

5 和歌山県産業表彰制度事業

5,760

5,549

経営者や専門家等で構成する「和歌山県企業ソムリエ委員会」にて、激励賞を川本化成（株）に決定した。

6 中小企業支援センター事業

40,270

38,169

（公財）わかやま産業振興財団が実施する県内中小企業等の事業の構想、準備から成長の各段階における人材・技術・資金・情報等の各種相談にワンストップで対応するための支援等に要する経費に対して補助を行った。

7 プロ人材活用事業

55,754

49,686

（公財）わかやま産業振興財団内に「プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置し、県内企業が自社の成長・拡大・発展のために必要となる中核人材（プロフェッショナル人材）の採用や副業・兼業人材の活用に対する補助及びアドバイス等の支援を実施した。



				<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長企業支援補助金 交付実績 13件</li> <li>・副業兼業人材活用補助金 交付実績 8件</li> <li>・プロフェッショナル人材戦略拠点相談件数 172件</li> <li>・プロフェッショナル人材成約件数 42件</li> <li>・副業兼業人材成約件数 25件</li> </ul>
8	和歌山産品販促支援事業	81,921	74,713	<p>県内中小企業が持つ優れた製品や技術力をPRするために行う国内外の著名な展示会への集団出展をはじめとする販促活動に対して補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外展示会集団出展支援 6社</li> <li>・海外展示会個別出展支援 6社</li> <li>・国内展示会集団出展支援 48社</li> <li>・国内展示会個別出展支援 18社</li> </ul>
9	わかやま地場産業ブランド力強化支援事業	95,457	81,007	<p>賃加工・下請型のビジネスモデルから脱却し、企画・提案型のビジネスモデルを目指す地場産業の企業等（令和2年度から令和4年度採択の27企業1グループ）に対して補助を行った。</p>
10	販売力強化支援事業	4,073	3,197	<p>首都圏等での販路開拓を希望する企業に対し、営業拠点（わかやまビジネスサポートセンター）を提供し、専門家（ABC等）による相談業務などの支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援社数 5社</li> </ul>
11	わかやま塾事業	5,950	4,680	<p>将来和歌山県を支え、世界にはばたくグローバル人材を育成するため、50歳未満の県内企業の経営者等を対象に「わかやま塾」を開講した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開講回数 9回 塾生 55人</li> </ul>
12	きのくにICT教育（ステップアッププログラム）事業	5,229	4,561	<p>ICT人材の育成の強化のため、中・高校のICT教育に取り組む部活動（パソコンクラブ等）に外部指導者を派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者派遣回数 113回、派遣した部活動 12校、指導した部員 延べ1,106人</li> </ul>
13	地域課題解決型起業支援事業	74,129	67,482	<p>地域課題解決を目的として新たに起業する者を対象に、起業に必要な経費に対して補助を行った。（起業支援金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金交付実績 27件</li> </ul> <p>起業支援金の採択者のうち東京23区等からの移住する者を対象に移住先の市町村と連携し、移住支援金を支給した。（移住支援金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金交付実績 3件</li> </ul> <p>起業支援金の採択者のうち希望する者を対象に、ふるさと納税型クラウドファンディングを実施し、目標額に達したプロジェクト実行者に奨励金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標額達成実績 3件</li> </ul>
14	販促デジタル化促進事業	91,128	85,534	<p>県内中小企業がインターネットを活用した事業活動を行うためのウェブサイト等の作成</p>

				又は改良を支援した。
				・販促ツール作成支援補助金交付実績 228件
				・販促ツール活用促進セミナー 255人
15	システムカイゼン促進事業	135,816	133,447	県内中小企業の生産現場の効率化や経営管理体制の強化を図るためのシステム導入を支援した。
				・システムカイゼン促進支援補助金交付実績 43件
				・システム導入講座受講実績 21人
16	成長志向創業者支援事業	20,000	20,000	県内起業を促進するため、「起業家が起業家を生み育てる」をコンセプトに、成功した起業家と成長意欲の高い創業者等が交流できる機会と場の提供として、月例会及びアントレプレナーサミット in 白浜等を開催した。
17	デザイン経営価値共創支援事業	17,360	17,358	デザイン経営の手法を用いて、県内中小企業の企業価値・商品価値の向上を図るため、シンポジウム、セミナー及びワークショップ等を開催した。
18	わかやまデジタル革命推進プロジェクト（デジタル経営推進）事業	24,908	24,062	デジタル経営診断の実施及びデジタルマーケティングに関する知識・スキルの習得や主に製造現場におけるデジタル技術を用いた改善知識・スキルを習得する講習会を開催した。
				・デジタル経営診断ツールを用いた診断実績 1,598社
				・デジタルマーケティング講習受講実績 58社（77人）
				・現場カイゼン講習受講実績 8社（27人）

## 産業技術政策課

### I 工鉱業総務費

1	水力発電施設周辺地域交付金事業	39,310	37,353	水力発電施設の設置市町村が実施する公共用施設整備及び地域活性化事業に対し、交付金を交付した。
				・交付金交付実績 7件
2	海洋エネルギー創出促進事業	4,082	3,790	新たなエネルギー源として海洋エネルギーの開発と利用を促進するため、メタンハイドレート賦存量調査に取り組んだ。
3	民間ロケット発射場周辺地域活性化事業	41,306	5,508	ロケット初号機打ち上げに向け、渋滞に配慮した見学客誘客を図るため、誘客マニュアル策定等の準備を進めるとともに、地元の機運醸成及び全国へのPRを目的に、宇宙シンポジウム in 串本を開催した。
(前年度繰越分)				
1	水力発電施設周辺地域交	5,814	5,158	水力発電施設の設置市町村が実施する公共用施設整備及び地域活性化事業に対し、交付

	付金事業			金を交付した。
2	民間ロケット発射場周辺地域活性化事業	15,250	15,250	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交付金交付実績 1件</li> </ul> スペースポート紀伊を活用した地域活性化を図るため、串本町役場古座分庁舎のリノベーションに要する経費に対して補助を行った。
<b>II 中小企業振興費</b>				
1	知的財産戦略事業	18,952	17,191	産学官の技術連携と知的財産活用により、県内中小企業の産業競争力を強化するため、（公財）わかやま産業振興財団に設置するコーディネーター3人の活動費用を補助するとともに、知的財産経営戦略セミナーを開催した。
2	先駆的産業技術研究開発支援事業	119,223	100,558	県内事業者が保有する技術シーズを活用して、商品化に向けた技術を確立するための研究開発やサービス化に向けた実証実験に要する経費に対して補助を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金交付実績 19件</li> </ul>
3	ベンチャー企業等立地促進事業	4,404	2,929	新たな産業の創出及び雇用機会の創出を図り、本県経済の活性化に資するため、県内に新規立地するベンチャー企業等に対し奨励金及び補助金を交付した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付事業者数 2件</li> </ul>
4	ものづくり生産力高度化事業	297,813	96,416	県内企業がコロナ禍によるビジネス環境の変化に対応し、生産性を向上させるためのデジタル技術等の導入に要する経費に対して補助を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金交付実績 8件</li> </ul>
5	わかやまデジタル革命推進プロジェクト（デジタル講習）事業	26,495	25,569	県内事業者におけるDXを推進するため、県内事業者向けに講習を開催するとともに、（公財）わかやま産業振興財団にDX推進をサポートするためのDX推進員を配置した。
6	わかやまデジタル革命推進プロジェクト（DXチャレンジ）事業	21,175	21,120	県内におけるDXのロールモデルを創出するため、県内企業3社に対してデジタル技術等に精通した専門家による伴走支援を行った。
<b>III 工業技術センター費</b>				
1	地域産業活性化促進事業	91,015	90,076	地域産業の活性化と新規産業の創出を支援するため、技術相談・指導、研究開発、受託試験、研修生受入、技術情報の提供等を実施した。また、（公財）JK A補助事業を活用した「炭素・硫黄同時分析装置」の購入など、材料開発支援や消費者向け製品の高性能化への対応を強化した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術指導・相談件数 11,069件</li> <li>・受託試験等件数 13,386件</li> </ul>
2	コア技術確立事業	6,956	6,693	県内企業のニーズ調査や市場動向等により、今後5～10年先の県内企業の競争力の維持

及び強化に必要となる技術（コア技術）について、令和2年度から3箇年の計画で3テーマを設定し、新たな研究開発を実施した。

- ・テーマ1「太陽光アップコンバージョンフィルムの開発」  
（これまでの成果：新規材料を開発、特許出願）
- ・テーマ2「化成品の生産性向上のための光反応手法の開発」  
（これまでの成果：新たな化学反応の開発に成功）
- ・テーマ3「微生物の育種技術の高度化」  
（これまでの成果：開発した醸造用酵母を利用し、県内企業が清酒を製造販売）

## 企業立地課

### I 企業立地対策費

1	企業誘致活動事業	15,240	13,982	関西圏、首都圏を中心に積極的な企業訪問を実施するとともに、企業立地連絡協議会を通じ、企業情報の収集、各種資料の作成を行った。
2	企業立地促進対策助成事業	2,408,716	2,293,331	「企業立地促進対策要綱」に基づき、新規立地した誘致企業や増設した県内企業に対し優遇措置を行った。
3	企業立地促進資金融資事業	4,687	4,686	県内へ工場を新設する企業の設備投資等資金融資の償還金及び企業立地促進資金貸付基金運用利子を積み立てた。
4	企業誘致広報事業	7,351	6,023	本県の企業立地環境、企業用地等をまとめた「企業立地ガイド」、「用地位置図」及びホームページの作成や広告掲載など本県の企業立地環境の広報を行った。
5	あやの台北部用地開発事業	1,019,991	694,552	ニーズの高い内陸型大規模用地確保を目的に南海電気鉄道（株）、橋本市及び県で共同開発するあやの台北部用地の造成工事等について、事業主体の橋本市を支援した。
			（翌年度繰越額） 325,439	
6	I C T和歌山推進事業	4,695	4,252	I C T企業のさらなる誘致に向け、県外I C T企業の役員等の県内視察を支援するとともに、動画やSNS等を活用したプロモーションを展開した。
7	データセンター誘致推進事業	20,000	15,950	データセンター誘致を推進するため、候補地に関する現況やデータ需要等の基礎調査を実施した。

## 観光振興課

### I 物産観光幹旋費

1	観光センター運営事業	24,789	24,787	首都圏・東海圏における観光物産情報発信及び観光客誘致活動の拠点として、「わかやま紀州館」及び「名古屋観光センター」の運営を行った。
---	------------	--------	--------	---

## II 観光費

1	観光客誘致対策事業	98,806	97,264	県観光連盟、市町村及び各観光関係団体と連携し、観光客の誘致を図るため、観光情報の提供、観光統計調査等を行った。
2	戦略的首都圏対策事業	19,693	19,693	首都圏における世界遺産「高野山・熊野」等本県への誘客活動及び情報発信を行った。
3	わかやま「観光力」推進事業	219,040	215,922	本県が有する多彩な観光資源を活用し、地域が一体となって魅力ある観光地づくりに取り組むとともに、戦略的な観光プロモーションを行った。
4	世界遺産等推進事業	61,405	53,216	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全・活用の推進と周知・啓発及び日本遺産を活用した情報発信等を行った。
			〔翌年度繰越額〕 8,000	
5	和歌山県世界遺産センター運営事業	9,175	8,063	世界遺産の保全・活用及び情報発信の活動拠点である「和歌山県世界遺産センター」の運営を行った。
6	水の国、わかやま。事業	26,480	24,207	「水」をテーマに「和歌山の魅力」を発信するとともに、「水」にまつわる体験事業者への補助や看板整備など受入環境の整備を行った。また、和歌山の自然を活かしたアウトドア体験の充実及び情報発信等を行った。
7	わかやま歴史物語事業	9,600	9,420	歴史・文化をテーマに様々な地域資源を盛り込んだ「100の旅モデル」についてWEBサイト等による情報発信を行うとともにスタンプラリーを実施し、県内の周遊促進・滞在時間の延長を図った。
8	サイクリング王国わかやま事業	29,276	27,523	「和歌山」＝「サイクリングの最適地」のイメージを定着させるとともに、県内の周遊促進・滞在時間の延長を図るため、モバイルスタンプラリーや情報発信及びサイクリング環境の充実を行った。
9	全国旅行支援事業	3,662,873	726,392	新型コロナウイルス感染症により大きなダメージを受けた県内観光産業を支援するため、全国旅行支援としてわかやまリフレッシュプランSワイド2ndにより、県内の宿泊施設を利用する旅行代金の割引支援を行うなど、旅行需要や県内消費の喚起を行った。
			〔翌年度繰越額〕 2,936,481	
(前年度繰越分)				
1	県民リフレッシュプラン販売促進事業	3,436,063	2,424,231	新型コロナウイルス感染症により大きなダメージを受けた県内観光産業を支援するため、県民割支援としてわかやまリフレッシュプランSにより、県内の宿泊施設を利用する旅行代金の割引支援を行うなど、旅行需要や県内消費の喚起を行った。
2	和歌山県版G o T o トラベル事業	6,809,904	6,273,608	新型コロナウイルス感染症により大きなダメージを受けた県内観光産業を支援するため、全国旅行支援としてわかやまリフレッシュプランSワイド等により、県内の宿泊施設を利用する旅行代金の割引支援を行うなど、旅行需要や県内消費の喚起を行った。

観光交流課

I 観光費

1	国際観光推進事業	126,251	112,860
2	教育旅行誘致推進事業	15,580	9,339
3	外国人観光客受入環境整備事業	59,676	47,396 〔翌年度繰越額〕 2,000
4	外国人観光客受入環境高度化事業	66,259	50,023 〔翌年度繰越額〕 16,214

海外の主要市場ごとの嗜好と旅行熟度に応じた方法により、旅行エージェント・メディアの招請、観光プロモーターを通じた情報発信、近隣府県等との連携による広域周遊観光の取組等を実施するとともに、多言語ウェブサイト・SNSの運用、海外メディアを通じた情報発信、多言語ガイドブック等の作成を行った。

国内外からの教育旅行の誘致拡大を図るためのプロモーションを実施するとともに、現地での下見支援など、受入態勢の充実を図った。

受入校数	県内	県外	海外
350	128	222	—

外国人観光客が快適・安心・安全に県内を周遊できる環境を整備するため、市町村が実施する観光施設の整備に対する支援、高野・熊野地域通訳案内士育成、飲食店の多言語メニュー作成支援及び多言語検索ウェブサイト「EAT WAKAYAMA」の構築、観光関係事業者向けの多言語電話通訳・簡易翻訳サービス事業等を実施した。

外国人観光客が紀伊半島をストレスなく周遊できるよう、バス停等における多言語案内表示等の整備を実施するとともに、観光Ma a S事業を実施し、公共交通の利用環境の充実を図った。